

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 6 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

正答

1

(1)

1

エ と オ

水以外の条件をそろえないと  
比べることができないね。



(2)

2

(れい) 適当な温度

種子が発芽するためには、水、適当な温度、空気が必要だね。



(3)

3

(れい) 日光があまり当たらないから

植物がよく成長するためには、水や肥料のほかに、  
日光が必要だよ。



2

(1)

4

ア、ウ

(2)

5

ア、イ

反しや鏡は、明るく見えるように  
するためのものだね。



(3)

6

(れい) 水そうには、めすのメダカしかいない  
ので、たまごが受精しないから。

めすが産んだたまごが、おすが出した精子と結び付く  
と育ち始めます。  
たまごと精子とが結び付くことを受精といいます。



〔社会〕小5 組 番 氏名

★先生方へ～解答欄の 1 ～10 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1 (1) <sup>1</sup>  <sup>2</sup>  <sup>3</sup>

(2) <sup>4</sup>

47都道府県の位置と名称(めいしよう)は地図帳で確認(かくにん)し、正しく覚えましょう。

2 a  <sup>6</sup>  <sup>7</sup>

3 (1)  (2)

日本の国土には、中央にせぼねのような山脈が連なっていて、国土の4分の3が山地です。また、国土のはばがせまく、山地が海岸近くまでせまっているところが多いため、外国と比べると川は短くて流れが急です。

(例)

(3) <sup>10</sup>

日	本	海	側	で	は	雪	が	多	く	
積	も	り	、	太	平	洋	側	で	は	10
か	わ	い	た	晴	天	の	日	が	続	20
く	こ	と	が	多	い	。				30
										40

日本の中央に連なる山地と季節風のえいきょうにより、冬は日本海側では雪が多く積もり、太平洋側ではかわいた晴天の日が続きます。

■ 正答

- 一 1 (例) 合唱
- 2 (例) (お年寄りに) 昔を思い出して楽しんでもらえる (十五字)
- 二 1 ア 寒い イ あたたかい (二つできて正解)
- 2 動物の体形(と) 気候 (二つできて正解)
- 三 1 ちしき 2 たいど
- 四 1 鏡 2 試験管

■ 考え方

- 一 1 話を聞くときには、話し手が何を伝えるために話しているのか、話し手の意見やその理由は何かなどに目を向けることが大切です。  
「お年寄りに喜んでもらうため」という目的に目を向けることで、友達の「合唱」という意見や「楽しんでもらいたい」という理由が明らかになります。  
ふだんから、話の目的を考えながら友達の発表を聞くようにしましょう。
- 二 2 文章を読むときには、筆者が何を伝えようとしているのかやそれぞれの段落にどのようなことが書かれているかを考えながら読むことが大切です。  
この問題では、ホッキョクギツネは「何を」伝えるための例なのかを考えながら読みます。

取り組んでみよう!

■ 次の——線部のカタカナを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 勝利をイワう。 [ ]
- 2 先生にソウダンする。 [ ]
- 3 アサガオのタネをまく。 [ ]
- 4 むだをハブく。 [ ]

答え

- (一) 景 ヲ 轟 3 鏡 相 2 (二) 祝 1

〔算数〕小5 組 番 氏名

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 13 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

(1)  $325.6$

(2)  $6$

(3)  $2$

かける数を10倍すると、積も10倍になるので、計算結果を10でわります。

(4)  $1$

小数でわるわり算では、1より小さい数でわると、商はわられる数より大きくなります。

2

(1)  $1.349$

(2)  $3.941$

「4.159」と4との差は0.159、「3.941」と4との差は0.059なので、4にいちばん近い数は、「3.941」になります。

3

(1)  $8.9 \times 3.4$

(2)  $31.5 \div 0.42$

$$\begin{array}{r}
 8.9 \rightarrow \text{右へ} \textcircled{1} \text{けた} \\
 \times 3.4 \rightarrow \text{右へ} \textcircled{1} \text{けた} \\
 \hline
 356 \\
 267 \\
 \hline
 30.26 \leftarrow \text{左へ} \textcircled{2} \text{けた}
 \end{array}$$

積の小数点は、かけられる数とかける数の小数点の右にあるけた数の和だけ、右から数えてうちます。  
この問題では、 $1+1=2$ なので、左へ2けたのところから小数点をうちます。

$$\begin{array}{r}
 75 \\
 0.42 \overline{) 31.50} \\
 \underline{294} \\
 210 \\
 \underline{210} \\
 0
 \end{array}$$

<小数のわり算の筆算のしかた>

- ①わる数が整数になるように、小数点を右へうつします。
- ②わられる数の小数点も、①でうつした分だけ右へうつします。
- ③商の小数点は、わられる数のうつした小数点にそろえてうちます。

4

9

162円

言葉の式 (1mのねだん) × (長さ) = (代金) に当てはめて考えると、 $60 \times 2.7$ で求めることができます。

5

10

40円

言葉の式 (1mのねだん) × (長さ) = (代金) を使って考えると、(代金) ÷ (長さ) = (1mのねだん) なので、 $92 \div 2.3$ で求めることができます。

6

11

480 cm<sup>3</sup>

直方体の体積は、たて × 横 × 高さ で求めることができます。

$$\underbrace{8}_{\text{たて}} \times \underbrace{12}_{\text{横}} \times \underbrace{5}_{\text{高さ}} = 480$$

7

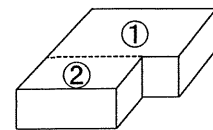
12

$$4 \times 7 \times 3 + 3 \times 5 \times 3$$

または

$$3 \times 5 \times 3 + 4 \times 7 \times 3$$

①+② または ②+① の形で同様の式が書いてあれば正解です。  
(①:  $4 \times 7 \times 3$     ②:  $3 \times 5 \times 3$ )

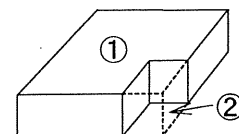


$$\underbrace{4 \times 7 \times 3}_{\text{①}} + \underbrace{3 \times 5 \times 3}_{\text{②}}$$

13

$$7 \times 7 \times 3 - 3 \times 2 \times 3$$

①-② の形で同様の式が書いてあれば正解です。  
(①:  $7 \times 7 \times 3$     ②:  $3 \times 2 \times 3$ )



$$\underbrace{7 \times 7 \times 3}_{\text{①}} - \underbrace{3 \times 2 \times 3}_{\text{②}}$$